

令和4年の夏は、座談会のメンバーと一緒に特別支援学校の先進地視察を行ったら！



○新各務原特別支援学校整備を考える座談会

特別支援教育の有識者や教員、県内特別支援学校在学中の児童生徒の保護者等からご意見をいただきたく、引き続き、新各務原特別支援学校整備について考える「座談会」を開催しております。特別支援学校についてより具体的なイメージを醸成し、活発な対話につなげるため、令和4年度は事務局とともに先進地視察にご参加いただきました。2日間で計11名が参加され、みなさん大変熱心に施設を見学し、積極的に質問をされていました。感想等を抜粋してご紹介いたします。

<愛知県立にしお特別支援学校視察（令和4年7月29日（金）実施）>

【学校概要】

- * 令和4年4月に開校したばかりの、小学部～高等部を設置する愛知県では初めての知的障がい・肢体不自由併設校
- * 現在想定している新各務原特別支援学校と比べて、児童生徒数や敷地・建物面積がほぼ同規模の学校

【感想等】

- 愛知県初の知的障がい・肢体不自由併設校であり、教室配置や動線の確保に工夫がされていた。
- 知的障がいと肢体不自由で教室やスクールバスを分け、教務主任をそれぞれに配置するなど、それぞれの専門性に対応できる工夫がされていた。
- 保健室が広く、医療的ケア室も充実していた。
- 木を使った外壁・外観に温かみを感じる。
- バス乗り場は屋根があり濡れない。
- 壁面の絵がとても素敵だった。あたたかい雰囲気になるのでぜひ取り入れてほしい。
 - ・新特別支援学校は知的障がい、肢体不自由、病弱の併設校のため、学校の設備や運営にさらなる工夫が必要である。
 - ・中庭などの樹木の整備や雑草の管理が大変だと思うので、そこを担う人材の確保が必要であると感じた。



<愛知県立いなざわ特別支援学校視察（令和4年8月2日（火）実施）>

【学校概要】

- * 開校9年目を迎えた、小学部～高等部を設置する知的障がいの特別支援学校。今年度の児童生徒数は335人。
- * デザイン性の高い校舎や、自立活動・職業教育に力を入れている点に特徴がある。

【感想等】

- 教室の前面が全面マグネットが使用できるホワイトボードになっており、効率性・安全性が高くよかった。
- 来客用玄関からすぐのところに相談室があり、外部の方が使いやすい動線になっていた。
- 「教育支援部だより」が地域に回覧されているのはとても良い。
- 視察をしたことで新しい学校の施設や活動のイメージが沸いた。
 - ・ガラス張りのデザインは広々として良いが、光を苦手とする子がいたり空調が効きにくいというデメリットもあると分かった。
 - ・すべてのクラスに電子黒板があり、教員と児童生徒には各自のタブレットがあった。各務原市でもぜひ取り入れてほしい。



引き続きご意見をいただきながら、よりよい学校を目指して、整備を進めて参ります。

新特別支援学校の建設について、市ウェブサイトにて公開中！児童生徒等みなさんのご意見も募集しております。

QRコードはこちらから⇒



【お問合せ先】

各務原市役所 教育委員会事務局 教育施設整備推進室
電話：058-383-7302（直通）